

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 日	
名古屋市長 様	<p>届出者 郵便番号 100-8332 住 所 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 氏 名 三菱重工業株式会社 代表取締役 泉澤 清次</p> <p>代理者 郵便番号 三菱重工業株式会社 住 所 名古屋市港区大江町10番地 氏 名 名古屋航空宇宙システム製作所長 平野 祐二</p> <p>連絡責任者 民間機セグメント 企画管理部 名古屋管理グループ 安全環境チーム 主席チーム統括 藤井 電話：052-611-9260 携帯：080-8652-8513</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>
事業場の名称	三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所 大江工場
事業場の所在地	名古屋市港区大江町10番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 6,351,319万円/年
③ 従業員数	2412人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙4参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	別紙1参照	
	(これまでに実施した取組) ①薬液処理槽の更新時期見直しによる廃液削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	排出量	別紙2参照	
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みの継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①金属くず類の仕分けを行い資源化 ②廃プラスチック類を種類毎に仕分けを行い資源化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みの継続実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙1参照	
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2参照	
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙1参照	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙1参照	
②計画	(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水処理に関し、処理後の汚泥量の集計を行い、脱水前の量との整合性を図り、適正な運転時を把握し汚泥の削減を図る		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙2参照	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙2参照	
(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを継続			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら埋立処分を行った産業廃棄物の量	別紙1参照	
	(これまでに実施した取組) 自ら埋め立てをすることはしない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	自ら埋立処分を行う産業廃棄物の量	別紙2参照	
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを継続		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙1参照	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1参照	
	再生利用業者への処理委託量	別紙1参照	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1参照	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1参照	
	(これまでに実施した取組) ①処理業者の実施調査 ②優良認定業者に委託 ③汚泥の処理について新規業者と契約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙2参照	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2参照	
	再生利用業者への処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2参照	
	(今後実施する予定の取組) 上記取組みを継続実施 コロナ禍の影響により排出量が減ったため、R6年度の排出量の計画値については、廃棄物の種類ごとにR5年度の排出量と同等とした。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	汚泥	汚泥	汚泥	汚泥	廃油	廃油	廃油	廃油	廃油	廃油
	名称(任意の名称を記入してください)	廃試薬(焼却)	汚泥(固化)	第1総排汚泥	第2総排汚泥	資源油	水溶性廃油	浸透検査液	ゴム付着ウエス	グリコール焼入油	廃油(TEA-80)
①	排出量(t)	0.013525	1.7	164.736	284.75	8.75	65.31	2.47	0.56	5.76	0.16
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	136.576	227.8	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	0.013525	1.7	28.16	56.95	8.75	65.31	2.47	0.56	5.76	0.16
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.013525	1.7	28.16	56.95	8.75	1.39	2.47	0.56	5.76	0.16
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	1.7	0	56.95	0	0	2.47	0	5.76	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.013525	0	0	0	0	0	0	0.56	0	0.16

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	廃油	廃油	廃アルカリ	廃アルカリ	廃アルカリ	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック
	名称(任意の名称を記入してください)	フッ素系洗浄 廃溶液	廃試薬(焼却)	写真現像液	蒸気発生器洗 浄液	PFOS含有泡 消火薬剤	離型紙	廃プラ	発泡スチロール	油付着紙	油付着ウエス
①	排出量(t)	0.026	0.128512	0.528	4.25	0.25	152.57	202.36	1.35	9.47	7.38
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	0.026	0.128512	0.528	4.25	0.25	152.57	202.36	1.35	9.47	7.38
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0.026	0.128512	0.528	4.25	0.25	152.57	202.36	1.35	9.47	7.38
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.026	0	0	4.25	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0.128512	0	0	0.25	152.57	0	0	0	0

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック
	名称(任意の名称を記入してください)	ケミカスカント 廃材	塗料付着紙 シート付着ウ エス	薬品付着廃プ ラ	廃フィルター	廃プラロール 状	複合材廃材、 粉カーボン	Cr付着廃プラ	試験装置(廃 プラ)	油圧ホース	複合材廃材 (硬化済)
①	排出量(t)	58.84	35.44	0.65	1.45	3.97	49.01	3.89	0.005	0.01	3.7
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	58.84	35.44	0.65	1.45	3.97	49.01	3.89	0.005	0.01	3.7
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	58.84	35.44	0.65	1.45	3.97	49.01	3.89	0.005	0.01	3.7
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0.65	1.19	3.97	49.01	3.89	0	0	3.7

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック	木くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず
	名称(任意の名称を記入してください)	試験装置(埋立)	廃プラ(解体物)	パレット	塗料付着金属	Cr付着金属くず	試験装置	アルミニウム端材・切粉	ショット粉	金属くず(解体物)	金属粉
①	排出量(t)	0.27	1	537.66	3.35	14.54	46.555	3.44	6.21	6.04	0.1941
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	0.27	1	537.66	3.35	14.54	46.555	3.44	6.21	6.04	0.1941
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	1	0	3.35	14.54	0.375	0	6.21	6.04	0.1941
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	1	0	0	0	0	0	0	6.04	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	14.54	0	0	6.21	0	0.1941

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	金属くず	廃酸	廃酸	廃酸	廃酸	廃酸	混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	名称(任意の名称を記入してください)	金属くず	写真定着液	樹脂含有廃液	廃酸廃液	リン酸処理液	廃試薬(凝集沈殿)	温度計	アルミナ粉	ソーラーパネル	試験装置(ガ陶屑)
①	排出量(t)	0.16	0.55	121.1	0.03	5.47	0.04	0.0006	7.76	0.04	0.03
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	0.16	0.55	121.1	0.03	5.47	0.04	0.0006	7.76	0.04	0.03
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.16	0.55	73.12	0.03	5.47	0.04	0.0006	7.76	0.04	0.03
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	73.12	0	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0.04	0.0006	0	0.04	0

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず					
名称(任意の名称を記入してください)	ガ陶屑	石膏(ガ陶屑)	断熱材	試験装置	ガスクロ装置					
① 排出量(t)	2.74	0.04	0.07	0.4	0.03					
② 自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0					
③ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0					
⑤ 自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0					
⑦ 自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0					
⑩ 処理委託した全量(t)	2.74	0.04	0.07	0.4	0.03					
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	2.74	0.04	0.07	0	0.03					
⑫ 再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	汚泥	汚泥	汚泥	汚泥	廃油	廃油	廃油	廃油	廃油	廃油
	名称(任意の名称を記入してください)	廃試薬(焼却)	汚泥(固化)	第1総排汚泥	第2総排汚泥	資源油	水溶性廃油	浸透検査液	ケロム付着ウエス	グリコール焼入油	廃油(TEA-80)
①	排出量(t)	0.01	1.5	164	280	9	66	2	0.6	6	0.15
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	136	224	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託する全量(t)	0.01	1.5	28	56	9	66	2	0.6	6	0.15
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.01	1.5	28	56	9	1	2	0.6	6	0.15
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	1.5	0	56	0	0	2	0	6	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.01	0	0	0	0	0	0	0.6	0	0.15

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	廃油	廃油	廃アルカリ	廃アルカリ	廃アルカリ	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック
	名称(任意の名称を記入してください)	フッ素系洗浄 廃溶液	廃試薬(焼却)	写真現像液	蒸気発生器洗 浄液	PFOS含有泡 消火薬剤	離型紙	廃プラ	発泡スチロール	油付着紙	油付着ウエス
①	排出量(t)	0.03	0.1	0.5	4	0.25	153	202.3	1	9	7
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託する全量(t)	0.03	0.1	0.5	4	0.25	153	202.3	1	9	7
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0.03	0.1	0.5	4	0.25	153	202.3	1	9	7
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.03	0	0	4	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0.1	0	0	0.25	153	0	0	0	0

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック	廃プラスチック
	名称(任意の名称を記入してください)	ケミカスカント 廃材	塗料付着紙 シート付着ウ エス	薬品付着廃プ ラ	廃フィルター	廃プラロール 状	複合材廃材、 粉カーボン	Cr付着廃プラ	試験装置(廃 プラ)	油圧ホース	複合材廃材 (硬化済)
①	排出量(t)	58	35	0.7	1.3	4	49.2	4	0.01	0.01	4
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託する全量(t)	58	35	0.7	1.3	4	49.2	4	0.01	0.01	4
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	58	35	0.7	1.3	4	49.2	4	0.01	0.01	4
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0.7	1	4	49.2	4	0	0	4

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック	木くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず	金属くず
	名称(任意の名称を記入してください)	試験装置(埋立)	廃プラ(解体物)	パレット	塗料付着金属	Cr付着金属くず	試験装置	アルミニウム端材・切粉	ショット粉	金属くず(解体物)	金属粉
①	排出量(t)	0.3	1	536	3	14	46.4	3	6	6	0.2
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託する全量(t)	0.3	1	536	3	14	46.4	3	6	6	0.2
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	1	0	3	14	0.4	0	6	6	0.2
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	14	0	0	6	0	0.2

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

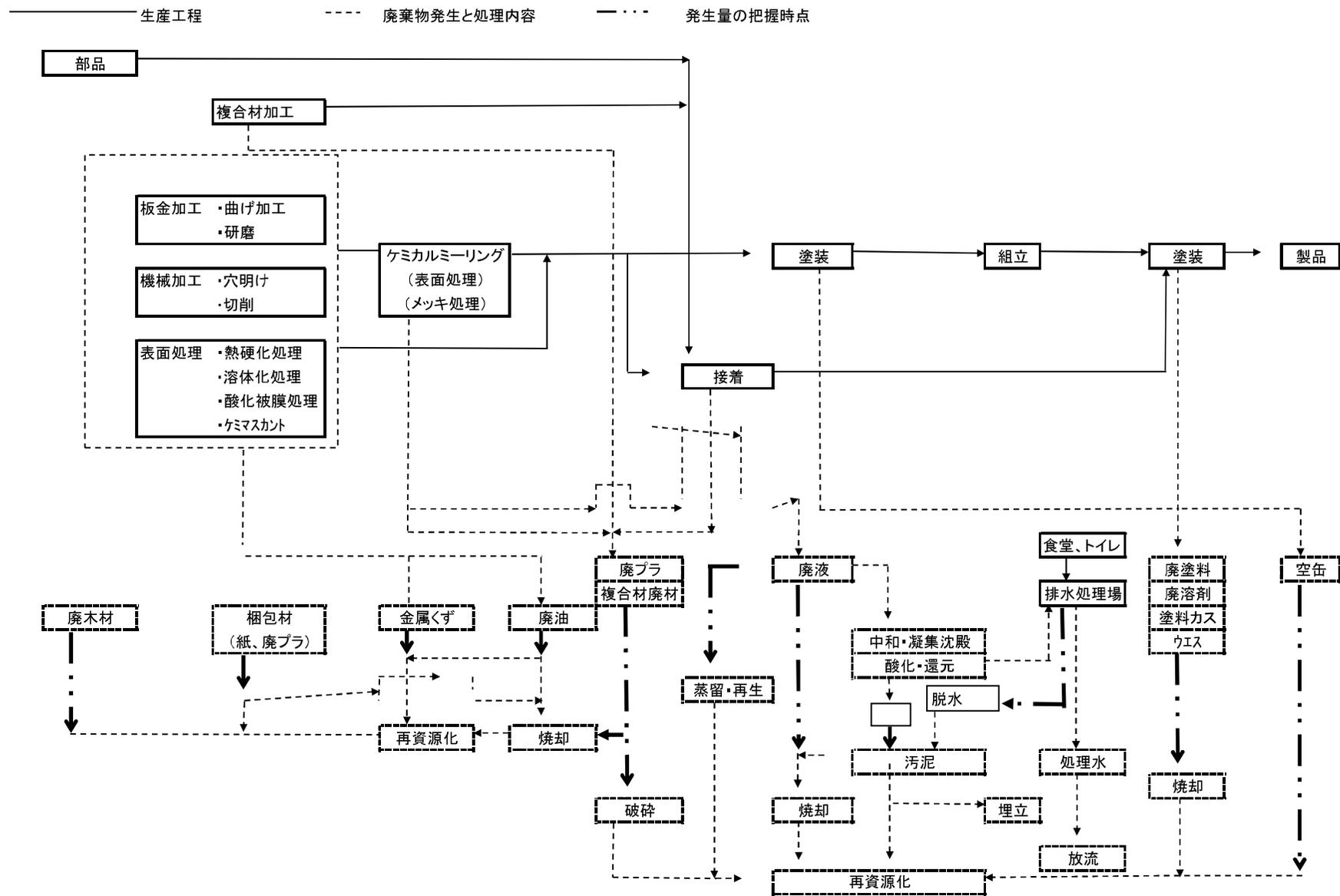
廃棄物の種類	金属くず	廃酸	廃酸	廃酸	廃酸	廃酸	混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
名称(任意の名称を記入してください)	金属くず	写真定着液	樹脂含有廃液	廃酸廃液	リン酸処理液	廃試薬(凝集沈殿)	温度計	アルミナ粉	ソーラーパネル	試験装置(ガ陶屑)
① 排出量(t)	0.15	0.6	120.4	0.1	5	0.05	0.001	7.5	0.05	0.03
② 自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 処理委託する全量(t)	0.15	0.6	120.4	0.1	5	0.05	0.001	7.5	0.05	0.03
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.15	0.6	73	0.1	5	0.05	0.001	7.5	0.05	0.03
⑫ 再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0.05	0.001	0	0.05	0

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず					
名称(任意の名称を記入してください)	ガ陶屑	石膏(ガ陶屑)	断熱材	試験装置	ガスクロ装置					
① 排出量(t)	3	0.05	0.05	0.3	0.05					
② 自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0					
③ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0					
⑤ 自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0					
⑦ 自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0					
⑩ 処理委託する全量(t)	3	0.05	0.05	0.3	0.05					
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	3	0.05	0.05	0	0.05					
⑫ 再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0					

④産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物管理組織図

